

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 平成28年度

市町村名	小鹿野町					
提案事業名	鉄道を利用した秩父観光推進事業（秩父圏域事業）					
事業期間	平成27年1月～平成27年3月					
成果指標	（成果を検証する指標） 観光入込客数					
	（成果検証の具体的な方法） 観光施設の入館者、来場者、札所巡りなどで小鹿野町を訪れる観光入込客数の把握により成果を検証するものです。					
	（成果の目標値に対する実績）			達成度	A	
	従前値 (H25年1月～12月現在)	251,759人	目標値 (H27年1月～12月時点)	255,000人	実績値 (H27年1月～12月時点)	304,113
	（施設建設等の場合の実績）					
	年間利用者数 (人)	（目標） （実績）		稼働率 (%)	（目標） （実績）	
住民への公表状況 及び特記事項						

【事業効果の整理・原因分析】

平成26年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① サイクルステーション事業	○	同事業によって、電車等で来秩した観光客にバス・タクシー等の交通手段に比べ、より気軽に自由度の高い交通手段を広域的に展開したことにより、町内・秩父圏域内の観光に新たな手段が加わり、町内の観光来訪者数が増加した。
②	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	バスの便数が少ない状況があることや、近くにバス停の無い観光拠点もあるため、レンタサイクル事業を実施したことで、観光来訪者の新たな交通手段が確保でき、レンタサイクルを利用した札所巡り等に活用された。
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	小鹿野町のホームページや様々なPR活動によってさらに効果的に観光情報や小鹿野町の魅力を発信し、引続きレンタサイクルの利用も促すとともに、新たな観光資源の掘り起こしや観光エリア、ジオパーク関連施設、食などを連携させた事業展開等に努め、更なる観光来訪者の増加を図る。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合
実績値 \geq (目標値-従前値) \times 80%+従前値

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合
(目標値-従前値) \times 60%+従前値 \leq 実績値 $<$ (目標値-従前値) \times 80%+従前値

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合
実績値 $<$ (目標値-従前値) \times 60%+従前値

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない